

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あかしや		
○保護者評価実施期間	2025 年 12月 15日 ~ 2026 年 1月 9日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業員評価実施期間	2025 年 12月 15日 ~ 2026 年 1月 9日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026 年 3月 27日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・園周辺に散歩したり遊んだりできる環境があります。	・散歩は、当初は車通りのない道から始め、親子で手をつないで歩けるよう積み重ねをしています。自然環境にも触れながらコミュニケーションの場としています。	・安心して活動できるよう、写真カードなどの支援ツールの使い方を、子ども一人ひとりの発達に合ったものとなるよう努めます。
2	・親子通園のため、子どもとの関わり方について、保育士が関わる姿を通して保護者に伝えたり、療育で行ったことを様々な場面で応用できるようになります。	・保育士の子どもの関わり方が、保護者にとって、ひとつのモデルとなります。また、利用の際に親子の実際の様子を見ること、保護者から子どもの家庭での様子も聞くことで、お子さんへの理解と支援方法を共に考えています。	・子どもへの理解を深め、保護者のニーズを把握し、より良い支援を目指していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・並行利用されている子どもが在籍する地域の園との情報共有に課題があります。	・職員の配置について、国の基準は満たしていますが、在籍園と情報共有に取り組むための人員確保が困難な場合があります。	・職員で連携、工夫し、よりよい支援を行うため、在籍園との情報共有に取り組めます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あかしや

公表日 2026年 3月31日  
利用児童数 2025年12月15日現在 7人 回答数 6人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	6	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備等 は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等 への配慮が適切になされていると思いますか。	6	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた 空間となっていると思いますか。	6	0	0	0	・感染症が流行している時、まめにアル コールでの除菌、かんきをまめにしてい た だ き、安心して利用する事ができた。	・清潔な環境を保ち、安心してご利用 いただけるよう、毎日清掃、消毒をし ています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか	6	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所 の提供する支援内容と合っていると思 いますか。	6	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズ や課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計 画(個別支援計画)が作成されていると思 いますか。	6	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの 「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこども の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、 具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	6	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	6	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思 いますか。	5	0	0	1	・いろいろな体験ができて喜んでおりま す。 ・子ができるようになると、少し高い目標 を再び設定してもらえて、子のできるが増 えて嬉しいです。	・繰り返し活動することによる安心感 や、身につくこと、また、お子さんの成 長に合わせた活動プログラムとなるよ う努めています。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その 他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	0	2			
保護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、 利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明 がなされましたか。	6	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会 や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	0	0	・日々の子育ての不安やモヤモヤがペア レントに参加する事で少し理解する事が できるようになり、以前のような漠然とし た不安・モヤモヤが減りました！	・ペアレントメンターの協力を得なが ら、ペアレント・トレーニングを開催し ています。引き続き、ご家族の支援を 行っていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こども の健康や発達の状況について共通理解が できている と思 いますか。	6	0	0	0	・感染症の流行状況等を迅速に連絡して くださるので、安心して利用する事が できて ます。	・安心してご利用いただけるよう、感 染症流行状況等について、随時お知 らせいたします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行 われていますか。	6	0	0	0	・子供について不安や何か迷っている事 等がないがまめに聞いてもらえるので 相談 しやすく、助かってます。	・不安なことや、お気づきのことがご ざいましたら、いつでもお声がけくだ さい。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思 いますか。	5	0	0	0		
保護 者 へ の 説 明 等	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等によ り、保護者同士の交流の機会が設けら れるなど、家族への支援がされている か。また、きょうだい向けのイベント の開催等により、きょうだい同士の交 流の機会が設けられるなど、きょうだ いへの支援がされていますか。	1	1	0	4	・まだ参加した事がないので、ど ちらとも 言 え な い で す。	・父母の会等はありませんが、保護 者の方やきょうだいの交流の機会に ついて、検討していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の 体制が整備されているとともに、こ どもや保護者に対してそのような場 があることについて周知・説明され、 相談や申入れをした際に迅速かつ適 切に対応されていますか。	6	0	0	0		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための 配慮がなされていると思 いますか。	5	0	0	0		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	0	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	0	0	0	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	0	・子供がわかりやすいよう紙しばいの様なかたちで説明されていて、工夫がなされていると感じました。 ・毎月、非常災害訓練等を行っています。子どもたちに分かりやすい方法で、災害等についてお話をしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	0	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	0	・どの先生も明るく接してくれるので、子供が不安なく通えている事が嬉しいです。 ・引き続き、安心して楽しく過ごしていただけるよう努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	0	0	0	・嫌がらず通うことができています。毎日一緒にないので飽きないように配慮されていてありがたいです。 ・毎回あかしゃに通園するのを楽しみにしています。 ・あかしゃが、お子さんにとって楽しい場所であるよう、今後も活動内容を工夫しながら支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0	・できることもたくさん増え、日々成長してくれて親としてもうれしいです。 ・日々のできるが増えており、本当に家族でおどろいております！！ ・家族みんなで通所させて、本当に良かったと思っています。 ・母(私)の体調等にも気遣って支援してくださり、あかしゃが心の支えになっています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あかしや		公表日		2026年 3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			・室内の配置を変えたり、他の部屋を使うなど、保育室以外での活動・遊びを工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			・お子さんに合わせた教材等の準備、備品の配置を行っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日清掃を行い、心地よくご利用いただけるよう衛生管理に努めています。 ・お子さんの活動に合わせたスペースを確保するために、他の部屋を利用しながら必要なスペースを確保しています。	・設備等で経年劣化がみられる部分があり、適宜、整備に努めます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・室内ではパーティションを利用したり、別の部屋で活動する等、個別空間を作っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・センターの児童指導員、心理士等も同席し、業務改善に向けての話し合いをする機会を設けています。	・課題や改善点について、意見を出し合える雰囲気づくりに努めます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者による外部評価は受けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・園内研修を毎月行い、外部研修にも参加しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・標準化されたツールは、乳幼児発達スケールを使い、確認しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・繰り返し活動することによる安心感や、身につくこと、また、お子さんの成長に合わせた活動プログラムとなるよう努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・今年度利用されているお子さんは地域の園に在籍しているため、在籍園が行うこととなっています(在籍園とは支援内容の情報共有を図っています)。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・日常的にセンター(米子市立あかしや)と連携し、本人・家族の支援について助言等を受ける機会があります。また、センターの療育に参加したり話し合ったりする機会も多くあり、一緒に活動することが、職員の専門性の向上につながっています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアレントトレーニングを受講していただく機会を設けています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会はありませんが、交流していただく機会を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・玄関横に掲示しています。	・ご利用の際に説明し、確認していただけるよう努めます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・非常災害訓練当日に利用されるご家庭には、訓練に参加していただいています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・食事の提供はありません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・事案が起こった際、その都度話し合っています。月1回、センターと共有して検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		